

兵庫県市川町でシンジュキノカワガを採集

久保 弘幸

筆者は2015年10月23日に、兵庫県市川町屋形にある、播但連絡自動車道の市川パーキングエリアにおいてシンジュキノカワガ (*Eligma narcissus*, 写真) 1頭を採集したので報告する。



シンジュキノカワガは、日本産蛾類標準図鑑II (岸田泰則編, 2011) によれば、コブガ科に「一応」含まれているが、ヤガ科に含まれるのか、独立の科とするのかが不確定とされている。

ニワウルシ (ニガキ科) の移入に伴って、日本に侵入したとされる種であるが、偶産種とされることも多い。これまでの採集例は、北海道から九州にまで見られ、兵庫県下では、2006・2007年に、伊丹市の昆陽池にある昆虫館周辺で発生が確認されている (安達, 2010)。

しかし、伊丹市では2008年以降は発生が見られなかったということで、兵庫県下では安定的に発生が継続する種ではないと思われる。

今回採集した個体は♂で、同日午前、上り線と下り線のパーキングエリアをつなぐ地下トンネル内で飛行中の個体を採集したものである。この場所では、他に同種の個体は見られなかった。

翅も鱗粉もまったく損傷を受けていない、きわめて新鮮な個体であり、羽化後に長距離を移動したとは考えられないことから、ごく近い場所が発生地であったと思われる。

○参考文献

安達誠文, 2010. 伊丹市昆陽池町で発生したシンジュキノカワガ. きべりはむし, 32(2): 7-8.

岸田泰則編, 2011. 『日本産蛾類標準図鑑』 学研

(Hiroyuki KUBO 神戸大学大学院 昆虫多様性生態学研究室)

兵庫県北部の洞穴におけるプライヤキリバの記録

永井 英司

プライヤキリバ *Goniocraspidum pryeri* は、幼虫期にブナ科樹木の葉を摂食し、三重県では5月上旬頃に羽化し、その後6月下旬頃までに洞穴に入り、翌春まで休眠し、3月下旬頃に洞穴を出て産卵するという生活史を持つ (佐野明, 2005)。

筆者は、兵庫県北部の8箇所の人工洞穴において2015年度冬季のコウモリ調査を行い、この際、5箇所の洞穴でプライヤキリバを見かけているので記録として書き留めておく。

○プライヤキリバの見られた洞穴

- 20. XI. 2015 豊岡市立石 神美鉱山 東洞 2頭 西洞 2頭
- 13. XII. 2015 豊岡市竹野町東大谷 竹野鉱山 奥の小洞 4頭
- 29. XII. 2015 豊岡市出石町奥山 立町鉱山 3頭
- 24. I. 2016 豊岡市但東町小谷 小谷坑道 3頭
- 11. II. 2016 豊岡市出石町奥山 茗荷谷坑道 3頭

○プライヤキリバの見られなかった洞穴

- 23. XII. 2015 朝来市山東町金浦 旧夜久野トンネル
- 10. I. 2016 香美町香住区沖浦 沖浦鉱山
- 8. II. 2016 香美町香住区沖浦 沖浦鉱山
- 31. I. 2016 朝来市上八代 坑道



プライヤキリバ 豊岡市但東町小谷 小谷坑道 2016. 1. 24

○参考文献

佐野明, 2005. プライヤキリバ (チョウ目ヤガ科) 休眠個体群に対する洞穴性コウモリの捕食圧. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 (49): 137.

(Eiji NAGAI 豊岡市但東町)